

第 133 回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2023 年 5 月 10 日（水）18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 22 名

3 会議内容

<新規提案>

（1）夏休みの宿題をやろう！（廃材ワークショップ）

【概要】

- ・夏休みの宿題として使えるような、廃材を使った自由な工作ができるイベントを開催したい。見本の作品を置いておくと、子どもの自由な発想に任せる。
- ・スタッフ持参の工作用具では数に限りがあるため、ことば蔵の備品も借りたい。
- ・前回はコロナ禍前。キャンセル待ちが出るほど好評だった。

【意見】

- ・イベント時間内で作品は完成させられるのか。
→前回は、一時間半のイベント時間内で完成させられる見本（仕掛け貯金箱）を用意したが、予想を超える参加者が集まったため、時間内に完成させられない人もいた。今回は、しっかり時間内に終わらせられる、易しめの見本を用意する。
- ・見本などで何かしらのテーマを示して、その枠組みの中の作品をつくるのか。
→見本はあくまで「何を創ったらいいかわからない子」に向けたもの。見本とは関係ないテーマで工作する子もいた。2 個目 3 個目をつくりたい子のために、廃材は多めに用意しないと。
- ・子どもの居場所フルハウス(企画者)って？
→子どもたちに居場所を与えるべく活動している団体。伊丹小学校区周辺に住む、小中高生の保護者たちによって運営されている。
- ・小学校低学年の保護者同伴について。
→対象を伊丹小学校の児童に限定していないため、校区外からも児童がくるかもしれない関係で、低学年なら保護者同伴としている。
- ・前回かなり時間が押していたが、スタッフは足りているのか。
→正直、フルハウスのメンバーだけでは少ない。しかし、コロナ禍を経てメンバーのこどもが中高生に成長！応援として来てもらえるかも。

・終了時間を明確にし、適宜「あと〇分」や「半分過ぎたよ」と声掛けをすることで、メリハリをもってとりくめるのではないかな。

→過去にもホワイトボードに終了時間を記載していたが、参加人数が多く、しっかり伝えられてはいなかった。検討する。

(2) 超！初心者シニア向け スマホで写真を送ってみたくなる講座

【概要】

- ・4月に開催した、スマホを使ってみたいくなる講座の続編。
- ・スマホで写真を撮る高齢者は意外に少なく、撮っていても、どこに保存されているのか、どうやったら確認できるのか知らないこともある。
- ・LINEは高齢者にも広く利用されているが、画像送信はあまり使われていない。そこで、スマホの写真の撮り方から、画像保存の仕組み、送信の仕方などを紹介する。

【意見】

・第2回目ということだが、第1回目を受講していなくても参加できるのか。

→できます。

・画像送信の相手はどうするのか。

→受講者同士でともだちになってもらい、画像送信の練習をする。講習内ではグループも作ってもらおう予定。

・個人情報を取り扱うため、事前に参加者に周知させておく必要があると思う。イベント後も参加者がともだちとして残ってしまうので、ブロック、削除等のアフターフォローがあれば安全。

・LINEのインストールが必須になるのか。

→インストールしていただく必要がある。講座が始める前に、インストールの仕方からサポートする予定。(セキュリティ面の不安からインストールしたくない方もいるかもしれない。初期設定でセキュリティ面には留意。)

・被写体は？

→自撮りはすると思うが、他は検討中。当初は外に出て何か撮る構想もあった。

・自撮りを参加者のグループで回すのは抵抗があるかもしれない。告知の段階から明記して了承を得ておくべき。

〇LINEについて (ことば蔵事務局意見)

→交流イベントでの個人情報の交換や企画者の個人情報収集については認めていないので、グループでのLINEの交換については参加者の事前承認、事後のグループや情報の削除方法等も含めて教えることとして欲しい。

(3) 第4回すのこでDIY

【概要】

- ・すのこを使ったDIY講座の第四弾。オリジナルの開閉式の棚をつくる。

・指定したサイズのすのこを参加者に持参してもらおう。電動工具などはスタッフが用意。見本も出したい。小学生は保護者同伴。

【意見】

・保護者同伴がない中学生でも電動工具は安全に使えるのか。

→安全に使える。大人の補助があれば小学生でも使えるような工具。

・材料費の徴収について。

→これまでと同じように、材料を参加者各自で調達してもらってきてもらうので、材料費・参加費は無料。どこに行けば調達できるのか、広報の段階でアドバイスを添えるようにする

・材料が多かったり、完成作品が大きかったりすると、持ち運びが大変ではないか。

→指定サイズであれば、そこまで大きくはならない。

・雨の日の持ち帰りについて。

→ビニール袋でくるんで持って帰ってもらおう。

<イベント実施報告>

(1) ことば蔵で風流を

参加者は33人。初めての方もいらっしゃって、成功だったのではないかな。尺八、箏の演奏の他、藤井邦夫作品の朗読や、母親に関する講演などを行った。

次回も「六段の調べ」の演奏会を考えている。

(2) スマホで「ことば蔵にある本の所蔵検索・予約」をしてみませんか？

参加者は7人。インターネットを使った本の所蔵検索・予約機能を紹介した。参加者のレベルにかなり差があり、30分を想定していた箇所の進行が実際には1時間もかかってしまった。レベル別に参加者を選別するのも難しいと感じた。これらのことは、実際にイベントを開催してみないとわからないことで、今回は大変勉強になった。

(3) 超！初心者向け スマホを使ってみたくなる講座

参加者は20人。65歳以上が対象。普段、スマホを持っているけど使う機会が少ない人が、もっとスマホを使ってみたいと思える機能を紹介した。電車の乗り換え検索や、グーグルレンズなどを主に扱った。交流フロアでモバイルネットワークが繋がりにくかったのも、もっと確認すべきだった。

(4) なに??からはじまるプラモデル交流会&作品展示会

参加者は10人。これまでは展示会がメインで、参加者の交流が少なかったが、今回からは制作会をメインに。こどもと大人の教えあいなど、参加者の制作&交流を暖かく見守ることができた。

(5) 漫画を語ろう！

参加者は6名。今回のテーマは「だまされた漫画」。テーマからはたくさん脱線したが、表紙のデザインの話題などで盛り上がった。

次回は5月24日(水) 18時30分～ テーマは「元気になる漫画」。

(6) ツボ押し活で健康になろう！！

参加者は28名。一方的に喋る講義形式であったが、もっとフロアを回って、ツボの場所が正しいかアドバイスができればよかった。もっとたくさんのツボを教えてほしいとの意見もいただいた。

4 次回の運営会議 2023年6月7日(水) 18:00～ ことば蔵1階 交流フロア